

# 令和5年度シラバス

## 視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
視能検査学総合演習		講義・演習	谷口 誠典・吉田 祐貴	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
この講義での1つ目の目的は学童期以降の小児や成人に対する眼鏡合わせの理論を学ぶこと。2つ目は散瞳型眼底カメラの実習を行うことである。特に眼鏡合わせについては臨床に出た時に苦手意識をもつ視能訓練士が多い検査である。なぜなら患者のこれまでの眼鏡の装用経験の有無やKB度数、装用期間、患者の視生活の状況、見え方に対する感覚順応力の違いが全て患者一人ひとり異なるからである。この講義では臨床に出た際に役立つ知識を伝えていきます。				
授業の到達目標				
①散瞳型眼底カメラで後極部撮影ができる。 ②眼鏡合わせに必要な知識を習得する。				
授業計画				
回	内容			
1	医療面接	16	小児の弱視治療用眼鏡等、三歳児健康診査	
2	成人の眼鏡合わせ（近視） / 散瞳カメラ（後極）① 【実習】	17	眼鏡フレームとフィッティング	
3	成人の眼鏡合わせ（近視） / 散瞳カメラ（後極）① 【実習】	18	多焦点レンズ①（計算問題 復習）	
4	成人の眼鏡合わせ（近視） / 散瞳カメラ（後極）② 【実習】	19	多焦点レンズ②（二重焦点と累進 遠近両用）	
5	成人の眼鏡合わせ（近視） / 散瞳カメラ（後極）② 【実習】	20	多焦点レンズ③（累進 中近両用、近近両用）	
6	成人の眼鏡合わせ（遠視） / 散瞳カメラ（周辺）①' 【実習】	21	多焦点レンズ④（練習問題、国試過去問）	
7	成人の眼鏡合わせ（遠視） / 散瞳カメラ（周辺）①' 【実習】	22	プリズム（計算問題 復習）	
8	成人の眼鏡合わせ（遠視） / 散瞳カメラ（周辺）②' 【実習】	23	プリズム（計算問題 復習）	
9	成人の眼鏡合わせ（遠視） / 散瞳カメラ（周辺）②' 【実習】	24	プリズム眼鏡合わせ（組み込み式、Fresnel）	
10	成人の眼鏡合わせ（乱視） / 散瞳カメラ（周辺）③ 【実習】	25	特殊な眼鏡合わせ（カラー・ミラーレンズ、水中ゴーグル等）	
11	成人の眼鏡合わせ（不同視） / 散瞳カメラ（周辺）③ 【実習】	26	まとめプリント	
12	成人の眼鏡合わせ（乱視） / 散瞳カメラ（周辺）③' 【実習】	27	NIDEK（機器の実地体験）	
13	成人の眼鏡合わせ（不同視） / 散瞳カメラ（周辺）③' 【実習】	28	NIDEK（機器の実地体験）	
14	実験近視	29	NIDEK（機器の実地体験）	
15	学校健診	30	NIDEK（機器の実地体験）	
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
視能学 第3版	小林義治 他編		文光堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				
助手：上村 直久				